


高齢を理由に入居を拒むことのない住宅の主な特徴（平成26年6月現在）

区分	名称	概要	主な入居時の要件	情報収集・問い合わせ先
住宅	①すこやか賃貸住宅	高齢であることを理由に入居を拒まない賃貸住宅。 (一般の民間賃貸住宅だけでなく、サービス付き高齢者向け住宅や高齢者向け優良賃貸住宅なども含む。)	原則、自立していること。(※各住宅により要件が異なる。)	京都市すこやか住宅ネット (京安心すまいセンター) ☎744-1670

京都市すこやか住宅ネット  <http://www.kyoto-sjn.jp/>

高齢者のための住まい(住宅・施設)の主な特徴（平成26年6月現在）

区分	名称	概要	主な入居時の要件		情報収集・問い合わせ先
			自立	要介護	
住宅	②サービス付き高齢者向け住宅	バリアフリー構造の高齢者向けの賃貸住宅で、ケアの専門家による安否確認や生活相談サービスを受けることができる。住宅によっては、食事提供や入浴等の介助などの介護サービスも提供される。	60歳以上	60歳以上	京都市住宅政策課 ☎222-3666
	③シルバーハウジング	バリアフリー構造の高齢者向けの公営住宅で、生活援助員による生活指導や安否確認、緊急時対応等のサービスを受けることができる。低額の費用で入居できるが、入居所得制限がある。	60歳以上	60歳以上	京都市住宅供給公社 入居第一【募集のみ】 ☎223-2701
	④高齢者向け優良賃貸住宅	バリアフリー構造の高齢者向けの賃貸住宅で、緊急通報サービスが利用できる。所得に応じ、家賃補助を受けることが可能。	60歳以上	60歳以上	京都市住宅供給公社 お客様窓口 ☎257-4707
	⑤シニア住宅	シニア向け賃貸住宅で、高齢者に配慮された仕様や設備が整っており、24時間セキュリティや緊急通報サービスなどが提供される。	55歳以上	55歳以上	京都市住宅供給公社 ジュネット京都・久我の杜 ☎921-1165
	⑥養護老人ホーム	環境上及び経済上の理由で、自宅で生活できない場合に入所できる施設。なお、入所中に介護が必要な状態になれば、介護保険の訪問介護などを利用することができる。	65歳以上	65歳以上	京都市長寿福祉課 ☎251-1106
施設	⑦軽費老人ホーム(A型)	高齢等のために独立して生活するには不安が認められる方が入所できる施設。収入に応じ、低額な料金で、食事や入浴等の日常生活に必要なサービスの提供を受けることができる。	60歳以上	60歳以上	京都市介護保険課 ☎213-5871
	⑧軽費老人ホーム(ケアハウス)	身体機能の低下等により自立した日常生活を営むことについて不安があると認められ、家族による援助を受けることが困難な方が入所できる施設。収入に応じ、低額な料金で、食事や入浴等の日常生活に必要なサービスの提供を受けることができる。また、特定施設入居者生活介護の指定を受けた施設においては、当該施設が提供する各種の介護サービスを受けることが可能。	60歳以上	60歳以上	
	⑨住宅型有料老人ホーム	食事等の生活支援サービスが付く有料老人ホーム。介護が必要になった場合は外部の訪問介護サービス等を利用。	概ね60歳以上	概ね60歳以上	
	⑩介護付有料老人ホーム	特定施設入居者生活介護又は地域密着型特定施設入居者生活介護の事業者指定を受けた有料老人ホーム。入居時自立から要介護まで幅広いタイプがある。	概ね65歳以上	概ね65歳以上	
	⑪特別養護老人ホーム	日常生活で常に介護が必要で、在宅での介護が困難な方に、日常生活の介護、健康管理などを行う施設。	×	要介護1以上 65歳以上	
	⑫介護老人保健施設	医学的な管理の下での介護、看護、機能訓練、その他必要な医療などを行い、家庭での生活に戻れるよう支援する施設。	×	要介護1以上 65歳以上	
	⑬介護療養型医療施設	長期療養が必要な方に、療養病床などの介護体制が整った医療施設で、看護、医学管理下での介護、その他必要な医療などを提供する施設。	×	要介護1以上 65歳以上	
	⑭認知症高齢者グループホーム	少人数の認知症高齢者がそれぞれ個室を持ち、家庭的な雰囲気の中で、介護職員の世話を受けながら共同生活を行う。	×	要支援2以上 65歳以上	

高齢者向け住宅・施設

住まい選びのポイント



京都市すこやか住宅ネット 

高齢者の住まい選びのポイント!

～条件をチェックして、自分に合う住まいをさがしましょう～

このフローチャートは高齢者向けの住宅や施設への住み替えを検討するための目安として、おおよそのパターンを示したものであり、個別の状況により異なることがあります。

適当と考えられる住宅・施設の番号は裏表紙の表に対応しています



問 現在、介護が必要ですか？

A: 必要でない。
B: 必要である。

問 自立して生活できますか？

A: 一応自立しており、できる限り自分のことは自分でしたい。
B: 自立に不安があるので、生活支援サービスを利用したい。

問 常に医療サービスが必要ですか？

A: 必要である。
B: 必要でない。

問 バリアフリーや緊急時対応を重視しますか？

A: 特に重視しない。
B: 重視する。

問 費用の負担はどうか考えますか？

A: できるだけ抑えたい。
B: 多少費用がかかっても、自分の好みや条件にあう建物を選びたい。

問 費用の負担はどうか考えますか？

A: できるだけ抑えたい。
B: 多少費用がかかっても、自分の好みや条件にあう建物やサービスを選びたい。

問 認知症の専門的な支援が必要ですか？

A: 必要である。
B: 必要でない。

問 費用の負担はどうか考えますか？

A: できるだけ抑えたい。
B: 多少費用がかかっても、自分の好みや条件にあう建物やサービスを選びたい。

適当と考えられる住宅・施設

- ① すこやか賃貸住宅
- ③ シルバーハウジング
- ④ 高齢者向け優良賃貸住宅
- ⑤ シニア住宅
- ⑥ 養護老人ホーム
- ⑦ 軽費老人ホーム (A型)
- ⑧ ケアハウス
- ② サービス付き高齢者向け住宅
- ⑨ 住宅型有料老人ホーム
- ⑫ 介護老人保健施設
- ⑬ 介護療養型医療施設
- ⑭ 認知症高齢者グループホーム
- ⑪ 特別養護老人ホーム
- ⑧ ケアハウス (特定施設入居者生活介護*)
- ⑩ 介護付有料老人ホーム
- ② サービス付き高齢者向け住宅 (特定施設入居者生活介護*)



*特定施設入居者生活介護：入居されている方が、介護が必要になったときに、入浴、排泄、食事等の介護、機能訓練や療養上の世話などを行う施設や住宅。